

# 2026年3月期 第3四半期 決算説明会

ウシオ電機株式会社  
2026年2月6日

Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved

\*本資料の記載は、切捨てによる億円単位で表記しております。

\*売上高は外部顧客向け。営業利益率は、外部顧客向け売上高に対する比率を記載しております。

\*IP = Industrial Process事業、VI = Visual Imaging事業、LS = Life Science事業、

PHS = Photonics Solution事業

未来は光でおもしろくなる

# USHIO

ウシオ電機代表取締役社長の朝日です。

本日はお忙しい中、  
弊社「2026年3月期 第3四半期決算説明会」にご参加いただき、  
誠にありがとうございます。

ウェブサイトで公開している資料に基づき、  
決算内容についてご説明いたします。

## 2025年度 3Q実績：増益（売上高は微減）

- ステッパ露光装置の販売が対前年同期で減少し減収
- 構造改革に伴うアクションプラン実行による収益効率改善が寄与し、増益に好転
- DLT等露光装置関連の先行投資は計画通り拡大

## 2025年度 通期業績予想：据え置き

- 4Qで更なる事業構造改善に向けた施策実施による一定影響を見込む

## 新成長戦略の進捗

- 半導体ADP事業は、本格立ち上がり・回復が遅れるも、  
将来確実に拡大する需要に備えた**取り組みが着実に進展**
- 事業ポートフォリオ変革の各施策は、**計画通り実行し効果が発現中**

本日、お伝えしたいポイントは、記載の3点です。

まず、第3四半期の累計実績は、売上高は微減収も、営業利益は増益となりました。

ステッパ露光装置の販売は、過去の関連市場での過剰投資の影響により減少。また、露光装置関連の先行投資を計画通り拡大させたものの、構造改革に伴うアクションプランを着実に進めたことで、営業利益は増益に好転しました。

通期業績予想は、据え置きます。第4四半期で事業構造改善に向けた追加施策を実施する見込みで、一部精査中も、その影響を加味し据え置きます。一方、セグメント別の業績予想は修正が発生しています。詳細は後ほどご説明いたします。

新成長戦略の進捗については、前回第2四半期でご説明した状況から大きく変化なく、着実に進展しています。

それでは、まず第3四半期の累計実績についてご説明します。

(スライド4ページへ)

I. 2025年度 3Q業績概要

II. 2025年度 通期業績予想

III. 新成長戦略の進捗及び参考情報

IV. 参考資料

売上高  
1,269億円

前年同期比：11億円減（▲0.9%）

- IP事業：過去の関連市場での過剰投資影響継続で露光装置の販売が減少
- VI事業：映像演出ニーズが堅調に推移し映像装置の販売が増加

営業利益  
77億円

前年同期比：3億円増（+4.6%）

- DLT等露光装置関連の先行投資拡大も、構造改革に伴うアクションプラン実行による収益効率改善で増益

親会社株主に帰属する  
四半期純利益  
40億円

前年同期比：17億円減（▲29.8%）

- 【特別利益】政策保有株式等の売却益 35億円（2024年度3Q：0億円）
- 【特別損失】事業構造改善費用 41億円（2024年度3Q：-億円）

第3四半期業績は、  
売上高は11億円の減収、  
営業利益は3億円の増益、  
四半期純利益は17億円の減益となりました。

売上高は、  
露光装置の売上が減少し減収となりました。

営業利益は、  
DLTなどの露光装置関連の先行投資が拡大したものの、  
構造改革の取り組みにより収益効率が改善傾向にあり、増益となりました。

四半期純利益は、  
政策保有株式の縮減方針に則り売却を進めましたが、  
事業ポートフォリオ変革に伴う事業構造改善費用の計上により減益となりました。

続いて、営業利益の増減内容をステップチャートでご説明します。

(スライド6ページへ)

## 2025年度3Q：財務ハイライト

USHIO

単位：億円	2024年度 3Q実績	2025年度 3Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	1,280	<b>1,269</b>	▲11	▲0.9%
営業利益	73	<b>77</b>	+3	+4.6%
営業利益率	5.8%	<b>6.1%</b>	+0.3P	-
経常利益	104	<b>88</b>	▲15	▲15.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	57	<b>40</b>	▲17	▲29.8%
EPS (円)	58.22	<b>47.25</b>	▲10.97	▲18.9%
為替レート (円)	USD	152	▲3	-
	EUR	165	+5	-

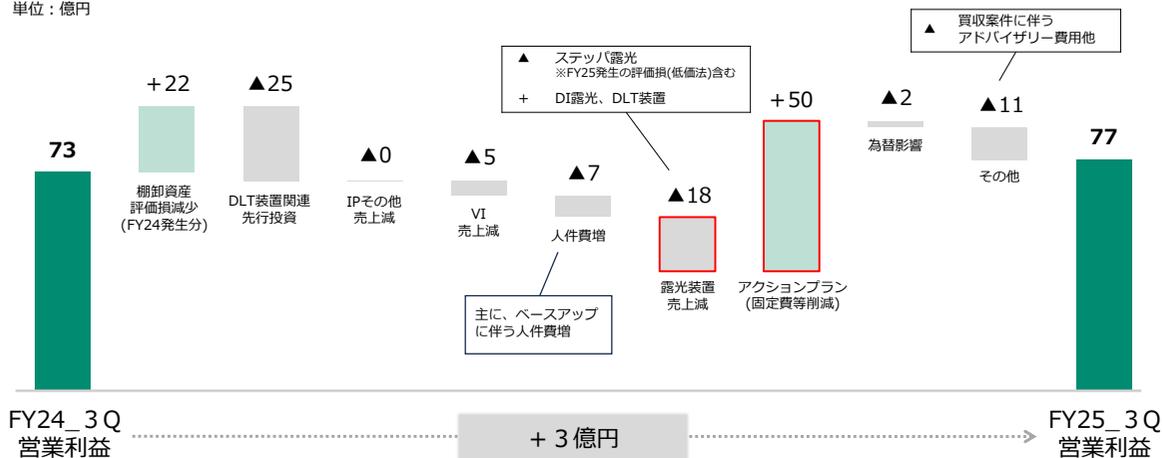
Copyright © 2026 Ushio Inc., All Rights Reserved

5

2025年度 3Q : 営業利益 増減分析(前年同期比)

露光装置減収や評価損等の一時要因及び戦略投資で減益も、構造改革効果による体質改善で増益

単位：億円



営業利益は3億円の増益となりました。

露光装置の減収に加え、一時的な評価損の計上や、買収案件に伴うアドバイザー費用の発生、将来に向けた先行投資の拡大などのコストが発生していますが、固定費等削減のアクションプランの実行による収益構造改善が進み増益となりました。

なお、固定費の削減効果は現時点で50億円となっています。

続いて、セグメント別の業績をご説明します。

(スライド8ページへ)

## 2025年度3Q：セグメント別業績

USHIO

	単位：億円	2024年度 3Q実績	2025年度 3Q実績	前年同期比	
				増減額	増減率
Industrial Process	売上高	546	<b>529</b>	▲16	▲3.1%
	営業利益 (営業利益率)	71 (13.0%)	<b>38</b> (7.2%)	▲32 (▲5.8P)	▲46.3% -
Visual Imaging	売上高	603	<b>605</b>	+2	+0.3%
	営業利益 (営業利益率)	14 (2.4%)	<b>35</b> (5.9%)	+21 (+3.5P)	+145.1% -
Life Science	売上高	44	<b>47</b>	+2	+5.5%
	営業利益 (営業利益率)	▲7 (▲17.7%)	<b>2</b> (4.4%)	+10 (+22.1P)	- -
Photonics Solution	売上高	76	<b>76</b>	+0	+0.8%
	営業利益 (営業利益率)	▲3 (▲4.3%)	<b>2</b> (3.2%)	+5 (+7.5P)	- -
その他	売上高	9	<b>9</b>	+0	+1.3%
	営業利益 (営業利益率)	0 (3.2%)	<b>▲0</b> (▲2.6%)	▲0 (▲5.7P)	- -
連結合計	売上高	1,280	<b>1,269</b>	▲11	▲0.9%
	営業利益 (営業利益率)	73 (5.8%)	<b>77</b> (6.1%)	+3 (+0.3P)	+4.6% -

Copyright © 2026 Ushio Inc., All Rights Reserved

7

	2024年度 3Q実績	2025年度 3Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	546	529	▲16	▲3.1%
営業利益	71	38	▲32	▲46.3%
営業利益率	13.0%	7.2%	▲5.8P	-
<b>サブセグメント別売上高</b>				
露光用ランプ	112	113	+1	+1.4% ③
OA用ランプ	46	38	▲7	▲16.9% ④
光学機器用ランプ	84	95	+11	+14.1% ⑤
光源事業合計	242	248	+5	+2.3%
露光装置	172	164	▲7	▲4.4% ①
光学装置その他	130	116	▲14	▲11.3% ②
光学装置事業合計	303	281	▲22	▲7.3%
Industrial Process事業合計	546	529	▲16	▲3.1%

## ■売上高 : 前年同期比 16億円減収

- 過去の関連市場の過剰投資影響で、ステッパ露光の販売が減少 ①
- EUVメンテナンス収入及び光配向装置の販売が減少 ②
- 需要は堅調も、円高の影響で横ばい ③
- ペーパーレス化による販売減少及び円高の影響 ④
- 半導体関連の稼働好調によりサーマルプロセス等の販売が増加 ⑤

## ■営業利益 : 前年同期比 32億円減益

- 先行投資の拡大 (DLT等露光装置関連\_25億円計上)
- 評価損の計上 (露光装置の需要回復遅れによる滞留資産 等)

インダストリアルプロセス事業についてご説明します。

売上高は、  
ダイレクトイメージング露光装置が、半導体関連需要に支えられ販売が増加したものの、  
ステッパ露光装置は、過去の関連市場での過剰投資の影響が継続していることから、  
販売が減少しました。  
また、EUVメンテナンス収入や光配向装置の販売減少もあり、  
16億円の減収となりました。

営業利益は、  
固定費削減の取り組みによる増益寄与があるものの、  
露光装置関連の先行投資25億円の計上や、  
需要回復遅れによる滞留資産に対する評価損を計上したことにより  
32億円の減益となりました。

ただし、投資の抑制が続いている露光装置については、  
徐々に案件が増え始めており、第4四半期以降は回復傾向となる見込みです。

## 2025年度3Q：Visual Imaging事業

単位：億円	2024年度 3Q実績	2025年度 3Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	603	605	+2	+0.3%
営業利益	14	35	+21	+145.1%
営業利益率	2.4%	5.9%	+3.5P	-
<b>サブセグメント別売上高</b>				
プロジェクター用ランプ	83	70	▲13	▲15.8% ③
照明用ランプ	27	24	▲2	▲11.1%
光源事業合計	110	94	▲16	▲14.7%
シネマ	244	239	▲4	▲2.0% ②
一般映像	248	271	+23	+9.3% ①
映像装置事業合計	493	511	+18	+3.7%
Visual Imaging事業合計	603	605	+2	+0.3%

## ■売上高：前年同期比 2億円増収

- エンタメ分野の映像演出ニーズ堅調で販売が増加 ①
- 需要回復傾向も、円高の影響で微減収 ②
- レーザープロジェクターの浸透によりランプ販売が減少 ③

## ■営業利益：前年同期比 21億円増益

- 前期計上の棚卸資産評価損の減少（FY24\_3Q累計：17億円）
- 製品ポートフォリオの見直し及び構造改革効果により増益

ビジュアルイメージング事業についてご説明します。

売上高は、  
プロジェクター用ランプが、レーザープロジェクターの浸透により販売が減少。  
シネマ向けプロジェクターは、需要回復により堅調に推移しましたが、  
円高の影響を受け、微減収となりました。  
一方、一般映像向けの映像装置は、エンターテインメント分野で映像演出ニーズが  
堅調に推移し、  
販売が増加しました。  
その結果、全体で売上高は横ばいとなりました。

営業利益は、  
前期に計上した棚卸資産評価損17億円が減少したことに加え、  
製品ポートフォリオの見直し及び構造改革の効果により、  
21億円の増益となりました。

## 2025年度3Q : Life Science事業 /Photonics Solution事業

## Life Science事業

単位：億円	2024年度 3Q実績	2025年度 3Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	44	47	+2	+5.5%
営業利益	▲7	2	+10	-
営業利益率	▲17.7%	4.4%	+22.1P	-

## ■売上高：前年同期比 2億円増収

- 植物育成向けランプの販売が貢献

## ■営業利益：前年同期比 10億円増益

- 新規案件の投資対象見極めによる収益効率改善

## Photonics Solution事業

単位：億円	2024年度 3Q実績	2025年度 3Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	76	76	+0	+0.8%
営業利益	▲3	2	+5	-
営業利益率	▲4.3%	3.2%	+7.5P	-

## ■売上高：前年同期比 0億円増収

- 半導体及び産業用途向け販売が堅調も、案件絞り込みで横ばい

## ■営業利益：前年同期比 5億円増益

- 案件の選択と集中による収益効率改善

Copyright © 2026 Ushio Inc., All Rights Reserved 10

ライフサイエンス事業についてご説明します。

売上高は、  
植物育成向けナトリウムランプの貢献が継続し、  
2億円の増収となりました。

営業利益は、  
新規事業案件の投資対象見極めや構造改革効果により、  
10億円の増益となり、黒字化しました。

最後に、フォトニクスソリューション事業です。

売上高は、  
半導体や産業用途向けでデバイス及びモジュールともに  
販売が堅調に推移したものの、案件の選択と集中による絞り込みの影響で、  
横ばいとなりました。

営業利益は、  
開発案件等の選択と集中による収益効率の改善で、  
5億円の増益となり、黒字化しました。

続いて、通期業績予想についてご説明します。

(スライド12ページへ)

I. 2025年度 3Q業績概要

II. 2025年度 通期業績予想

III. 新成長戦略の進捗及び参考情報

IV. 参考資料

## 2025年度 通期業績予想：財務ハイライト

## 期初計画を据え置き

収益構造改善が進展も、4Qで更なる事業構造改善に向けた施策実施による一定影響(精査中)を見込む

単位：億円	2024年度 実績	2025年度 予想	前年同期比		通期予想に対する 3Q進捗率
			増減額	増減率	
売上高	1,776	<b>1,700</b>	▲76	▲4.3%	74.7%
営業利益	88	<b>100</b>	+11	+13.3%	77.3%
営業利益率	5.0%	<b>5.9%</b>	+0.9P	-	-
経常利益	124	<b>105</b>	▲19	▲15.7%	84.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	67	<b>70</b>	+2	+3.0%	57.7%
EPS (円)	70.27	<b>79.45</b>	+9.18	+13.1%	-
ROE	3.1%	<b>3.5%</b>	+0.4P	-	-
年間配当 (円)	70	<b>70</b>	-	-	-
為替レート (円) *	USD	153	<b>146</b>	▲7	-
	EUR	164	<b>167</b>	+3	-

\* 3Q累計期間為替レート実績：USD：149円、EUR：170円、4Qの為替レート前提：USD：140円、EUR：155円  
(参考) 為替感応度：1円変動による影響額(通期)【対USD】売上高：約10.0億円、営業利益：約1.2億円

Copyright © 2026 Ushio Inc., All Rights Reserved 12

通期業績予想は、据え置きます。

期初計画に対し、収益構造改善の効果が計画以上に出ており、  
為替も円安で推移しています。  
一方で、第4四半期に事業構造改善の追加施策を実施する見込みで、  
その影響の一部は精査中です。

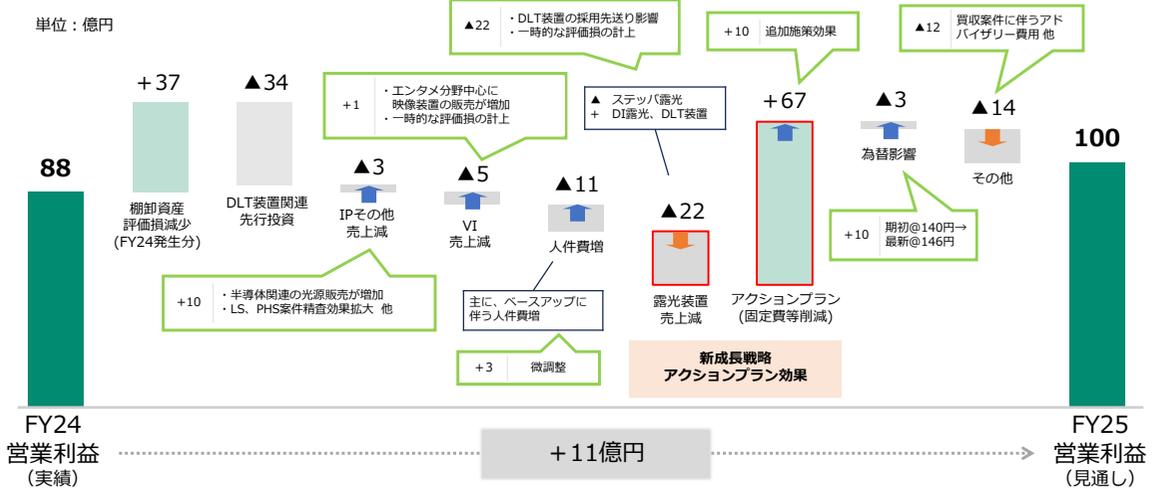
これらの状況を踏まえ、通期業績予想を据え置く判断としました。

2025年度 通期業績予想：営業利益増減分析（前年同期比）

前回予想からの変動額 主な変動要因 変動の方向性 USHIO

セグメント別通期業績予想の修正に伴い見直し

単位：億円



Copyright © 2026 Ushio Inc., All Rights Reserved 13

通期営業利益予想の増減内訳は、セグメント別の通期業績予想の修正に伴い見直しています。

主な見直し内容としては、

DLT装置の採用先送りによる影響や、買収案件に伴うアドバイザー費用の増加による減益要因の発生。

一方で、期初計画に対し円安が進んでいることで為替影響が軽減。また、固定費削減の追加施策の効果が拡大していることにより、減益をカバーできる見込みです。

2025年度 通期業績予想：セグメント別業績予想 修正内容

セグメント間の内訳修正

単位：億円		今回	前回 2025.5.13	差異	予想に対する 3Q進捗率	主な修正内容及び 4Qの見通し
Industrial Process	売上高	730	760	▲30	72.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>DLT装置の販売は来期以降にシフト。本格的な立ち上がりはFY27以降</li> <li>露光装置の需要回復遅れによる滞留資産に対し評価損を計上（低価法）</li> <li>半導体関連の光源販売が増加</li> <li>4Q:ステッパ露光装置は販売増加も、事業構造改善による評価損発生の見込み</li> </ul>
	営業利益 (営業利益率)	53 (7.3%)	65 (8.6%)	▲12 (▲1.3P)	71.9% -	
Visual Imaging	売上高	790	760	+30	76.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>期初想定比で円安推移による効果を反映</li> <li>エンタメ分野中心に映像装置の販売が増加</li> <li>4Q:製品ポートフォリオの見直しに伴う評価損発生の見込み</li> </ul>
	営業利益 (営業利益率)	45 (5.7%)	45 (5.9%)	- (▲0.2P)	79.3% -	
Life Science	売上高	60	60	-	79.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>投資対象見極めによる収益効率改善効果拡大で黒字化の見込み</li> <li>4Q:引き続き安定した需要が継続</li> </ul>
	営業利益 (営業利益率)	2 (3.3%)	▲6 (▲10.0%)	+8 (+13.3P)	105.0% -	
Photonics Solution	売上高	105	105	-	73.1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>案件の選択と集中による収益効率改善効果拡大で黒字化の見込み</li> <li>4Q:引き続き安定した需要が継続</li> </ul>
	営業利益 (営業利益率)	0 (0.0%)	▲4 (▲3.8%)	+4 (+3.8P)	- -	
その他	売上高	15	15	-	66.6%	
	営業利益 (営業利益率)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	- -	- -	
連結合計	売上高	1,700	1,700	-	74.7%	
	営業利益 (営業利益率)	100 (5.9%)	100 (5.9%)	- -	77.3% -	

Copyright © 2026 Ushio Inc., All Rights Reserved 14

セグメント別業績予想の修正内容について、ご説明します。

インダストリアルプロセス事業は、DLT装置の採用先送りや、露光装置の滞留資産に対する低価法の影響があります。また、第4四半期に事業構造改善の追加施策に伴う、一時的な評価損の計上を見込んでおり、売上、利益ともに下方修正します。一方、半導体関連需要が好調に推移していることから、関連する光源販売は増加しています。

ビジュアルイメージング事業は、円安による為替効果や一般映像分野での案件が堅調に推移していることから、売上高を上方修正します。一方、第4四半期に製品ポートフォリオの見直しに伴う評価損を見込んでおり、営業利益は据え置きます。

ライフサイエンス事業及びフォトニクスソリューション事業は、案件の絞り込みや精査などの取り組み効果で、収益効率が改善しています。いずれも通期で黒字着地を見込み、修正しています。

(スライド16ページへ)

2025年度 通期業績予想：セグメント別業績予想（前年同期比）



	単位：億円	2024年度 実績	2025年度 予想 (修正後)	前年同期比	
				増減額	増減率
Industrial Process	売上高	789	<b>730</b>	▲59	▲7.5%
	営業利益 (営業利益率)	96 (12.2%)	<b>53</b> (7.3%)	▲43 (▲4.9P)	▲44.9% -
Visual Imaging	売上高	808	<b>790</b>	▲18	▲2.3%
	営業利益 (営業利益率)	7 (0.9%)	<b>45</b> (5.7%)	+37 (+4.8P)	+516.7% -
Life Science	売上高	61	<b>60</b>	▲1	▲1.8%
	営業利益 (営業利益率)	▲10 (▲17.7%)	<b>2</b> (3.3%)	+12 (+21.0P)	- -
Photonics Solution	売上高	103	<b>105</b>	+1	+1.8%
	営業利益 (営業利益率)	▲4 (▲4.0%)	<b>0</b> (0.0%)	+4 (+4.0P)	- -
その他	売上高	13	<b>15</b>	+1	+9.2%
	営業利益 (営業利益率)	0 (6.0%)	<b>0</b> (0.0%)	▲0 (▲6.0P)	- -
連結合計	売上高	1,776	<b>1,700</b>	▲76	▲4.3%
	営業利益 (営業利益率)	88 (5.0%)	<b>100</b> (5.9%)	+11 (+0.9P)	+13.3% -

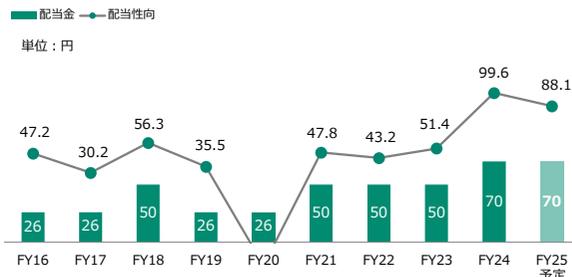
1株当たり  
期末配当額

【配当方針】

安定的な配当

2025年度 **70円/年（予定）**

新成長戦略の方針：  
FY24～FY26:下限配当70円/年を設定



自社株投資

【自己株式取得の方針】

機動的に実施

2025年8月5日リリース  
取得期間：2025年8月6日～2026年4月30日  
買付予定金額：**200億円(上限)**  
買付予定株数：**1,500万株(上限)**

新成長戦略の方針：  
FY24～FY26で累計500～600億円の  
自社株投資を実施予定

自社株式取得は順調に進捗

2026年1月31日時点の買付け状況(累計)

買付金額 **155億円**、買付株数 **720万株**



株主還元についてご説明します。

今年度の配当は期初計画通り、1株当たり70円から変更ありません。

自社株投資については、上限200億円の買付に対し、1月31日時点で累計155億円、720万株を取得し、進捗率は78%と順調に推移しています。

詳しくは、2月3日付けのリリースをご確認ください。

(スライド18ページへ)

- I. 2025年度 3Q業績概要
- II. 2025年度 通期業績予想
- III. 新成長戦略の進捗及び参考情報
- IV. 参考資料

半導体アドバンスドパッケージ事業において需要の立ち上がり・回復が遅れる見込みも、事業ポートフォリオ変革や資本効率改善の取り組みは計画通り遂行中

- 半導体アドバンスドパッケージ事業  
FY27からの本格的な立ち上がりに向け、受注・引き合いが増加中
- 事業ポートフォリオ変革・構造改革アクションプラン（固定費削減）  
構造改革は着実に実行し、計画通り効果が発現中+更なる取り組み効果（3Q時点の効果額：50億円）  
事業ポートフォリオ変革の一環として、事業譲渡を実施（スライド22参照）
- 自社株投資（200億円）  
計画通り進捗：1月末時点で155億円（進捗率：78%）の買い付け完了（ToSTNeT-3の活用を含む）
- ams OSRAM AGの一部事業を買収  
2026年3月期第4四半期でのクロージングに向け進捗

最後に、新成長戦略の進捗についてご説明します。

前回、第2四半期にご説明した内容から大きな変化はなく、着実に取り組みを進めています。

新たな取り組みとしては、事業ポートフォリオ変革の一環として、複数の事業譲渡を進めています。

また、オスラム社の一部事業買収については、予定通り、今期の第4四半期中にクロージングする見込みです。

Industrial Process	<p><b>露光装置の立ち上がり・回復の遅れや計画通り先行投資拡大により減益も、将来の成長拡大に向けた準備が着実に進展中。受注・引き合いは増加中</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>DLT装置の初受注を獲得。初売上を計上(2Q)。本格立ち上がりは遅れるも、FY27以降の拡大に向け着実に引き合いが増加中</li> <li>将来の成長拡大に向けDLT装置等の先行投資を計画通り実施</li> <li>ステッパ露光装置の市場回復は遅れるも、FY27以降の回復を見込む。UX-5の新製品(解像度1.5μm)拡充を発表</li> <li>EUV関連の開発投資を抑制</li> </ul>
Visual Imaging	<p><b>市場の回復に加え、構造改革の実行により収益性が改善傾向。来期(FY26)の営業利益率8%以上に向け進展中</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ハイエンド領域に集中すべく、製品ポートフォリオの見直しを実施</li> <li>人員の最適化(約1割削減)及び拠点の統廃合(▲3拠点)を実施</li> <li>コスト削減の取り組みを強化</li> </ul>
Life Science	<p>新規案件の投資対象見極めにより半数以上の案件を収束し、<b>収益効率が改善（黒字化）</b>                  将来の持続的な成長に貢献する新規案件の育成に向け、モニタリングを強化中</p>
Photonics Solution	<p>案件の選択と集中により、<b>収益効率が改善（黒字化）</b>                  更なる収益性改善に向け、あらゆる選択肢をもって取り組みを継続</p>
共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セカンドライフ支援制度の拡充（応募人数：238名）</li> <li>・ams OSRAM AGの一部事業を買収を決定（2026年3月期第4四半期でのクロージング予定）</li> <li>・一部事業の譲渡を決定（スライド22参照）</li> </ul>

Copyright © 2026 Ushio Inc., All Rights Reserved 19

新成長戦略のセグメント別進捗についてはご覧の通りです。  
 各セグメントにおいて、様々な取り組みを実施しており、  
 その効果が発現し始めています。

インダストリアルプロセス事業では、  
 半導体アドバンスドパッケージ事業の立ち上がりや回復遅延の影響、  
 DLT装置関連の先行投資拡大により、今期は減益となりますが、  
 将来に向けた露光装置の受注・引き合いは増加傾向にあり、  
 来期以降の露光装置の動き出しとともに、成長拡大に向けて着実に進んでいます。

ビジュアルイメージング事業では、  
 市場回復に加え、製品ポートフォリオ見直しや構造改革効果が徐々に発現。  
 来期2026年度の営業利益率8%以上の目標に向け、着実に収益構造の改善が進展し  
 ています。

ライフサイエンス事業及びフォトニクスソリューション事業では、  
 今期に黒字化を実現する見込みです。  
 来期以降、ライフサイエンス事業では、  
 案件のモニタリング強化により、将来の更なる持続的な成長に貢献する事業の育成  
 を継続していきます。  
 フォトニクスソリューション事業は、  
 更なる収益性の改善に向け、取り組みを強化していきます。

## 半導体アドバンスドパッケージ事業の最新状況

## 前回(2Q)から事業環境認識等に変更なし。各露光装置の受注・引き合いが増加

## 市場環境認識

- ・生成AI向け半導体の特定需要は拡大
- ・従来のサーバー・PC・車載系の需要は引き続き低調

## 当社を取り巻く事業環境

- ・2030年の想定市場規模(SAM : >\$800million)及びシェア(50%以上)に変更なし
- ・次世代パッケージ基板の大判化需要の本格的な拡大はFY27を想定。  
DLT採用の新技術の立ち上がりが1~2年後ろ倒しも、市場は確実に拡大
- ・サブストレート基板は回復の兆しあり。本格的な投資再開はFY27を想定
- ・競争環境の変化にフルラインアップで対応

## 進捗状況

## 市場の拡大、立ち上がりに向け評価・商談が進展。次世代機開発含め取り組みが進展

- ・DLT装置：業績貢献が遅れる見込みも、複数案件で受注が確定・内定。  
FY27の需要本格化に向け評価・商談が進展中（3Qで追加受注確定あり）
- ・ステップ露光装置：今期は計画通りに推移。FY27に向け引き合いが増加中
- ・DI露光装置：ADP分野向けの次世代機は、来期より立ち上がりを見込む

## 【参考情報（売上高推移）】

半導体アドバンスドパッケージ向け露光装置



Copyright © 2026 Ushio Inc., All Rights Reserved 20

半導体アドバンスドパッケージ事業については、  
前回ご説明の状況から大きな変化はありません。

いずれの露光装置も本格的な販売増加は少し先になりますが、  
受注及び引き合いは増加しています。

DLT装置では、第3四半期においても追加で受注の確定がありました。

引き続き、2027年度からの大きな成長拡大に向けて、着実に進展させていきます。

参考：UX-4シリーズの新製品リリース

### 各市場ニーズに合致した新製品投入により、シェア拡大を目指す

ウェハ向け一括投影露光装置UX-4シリーズの新製品「UX-45114SC」を受注開始  
～照射エリアはそのままに、さらなる解像力アップと重ね合わせ精度の向上を実現～

■「UX-45114SC」外観\*



- ・主にパワー半導体、MEMSセンサ、通信・光電融合関連(光半導体)のデバイスなどの生産効率を上げるための露光装置として長年にわたり多くの導入実績を持つUX-4シリーズの最新機種。
- ・φ6/φ8インチに対応し、解像力L/S=2.8μmと重ね合わせ精度向上を実現させた新製品
- ・2026年1Qより受注開始

#### ■主な特長

- ・一括投影露光：マスクダメージレス 高生産性120WPH
- ・深い焦点深度：3D表面形状への露光、厚膜レジスト露光
- ・自動化対応：インライン、オンライン、OHT・AGV対応
- ・解像力 L/S = 2.8μm
- ・重ね合わせ精度を改善
- ・水銀レス、LED光源対応

IoTや5G、モビリティの進化に不可欠な次世代の電子デバイスのウェハ大型化や高精度化したレイヤーに対して、高スループットを維持したまま解像力と重ね合わせ精度を向上することで、従来と同等以上の生産性かつ高い歩留まりが実現

詳細：[ウェハ向け一括投影露光装置UX-4シリーズの新製品「UX-45114SC」を受注開始 | ウシオ電機](#)  
(2025年12月12日付ニュースリリース)

#### ■暫定仕様\*

ウェハサイズ	6inch/8inch
露光エリア	φ200mm
解像力	2.8μm*
焦点深度	±10μm
重ね合わせ(表面)	±0.8μm
重ね合わせ(裏面)	±1.0μm
波長	i 線
対応ウェハ材質	Si, GaAs, GaN, GaP, InP, SiC, Glass, Sapphire, Ceramics, LN, LT, Thin & Thick
自動化オプション	EFEM, マスク自動搬送, SECS/GEM オンライン, AGV, コータ/デベロッパとのインライン化

\*外観・仕様は予告なく変更する可能性あり

※1 フィルタ選択により解像力&DOFの組み合わせを、「解像力2.8μm、DOF±10μm」もしくは「解像力3μm、DOF±20μm」で選択可能

Copyright © 2026 Ushio Inc., All Rights Reserved 21

昨年12月に、主に今後の成長拡大が見込まれる光半導体分野でのシェア拡大を目指し、  
ウェハ向け一括投影露光装置UX-4の新製品を発表しましたので、ご紹介します。

本製品では、  
お客様のニーズに合致したショットサイズ及び解像力と重ね合わせ精度の向上により、  
高い生産性と歩留まりを実現しています。

半導体アドバンスドパッケージ事業の成長拡大に加え、  
これらの露光装置も強化することで、強固な成長基盤を構築してまいります。

## 事業譲渡を実施

### ■大豆育成事業

詳細：【譲渡日】2025年4月1日（ウシオ電機から株式会社ニチレイフーズに譲渡）

### ■Pandoras Box®製品ライン\*

詳細：[German company to acquire Christie Pandoras Box product line](#)（2025年7月15日付ニュースリリース、英語版のみ）

### ■マイクロ流路事業

詳細：[マイクロ流路事業の日本ゼオン株式会社への譲渡契約締結について | ウシオ電機](#)（2025年12月25日付ニュースリリース）

### ■UV-LED事業及びユニキュア アフターサービス事業

詳細：[岩崎電気株式会社へのUV-LED事業およびユニキュア アフターサービス事業の譲渡に関するお知らせ | ウシオ電機](#)（2026年1月19日付ニュースリリース）

### ■Broadcast and Professional Video事業\*

詳細：[Christie signs agreement to sell video processing technologies](#)（2026年2月3日付ニュースリリース、英語版のみ）

\*海外グループ会社Christie Digital Systemsにて実施

Copyright © 2026 Ushio Inc., All Rights Reserved 22

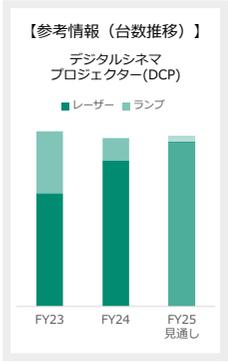
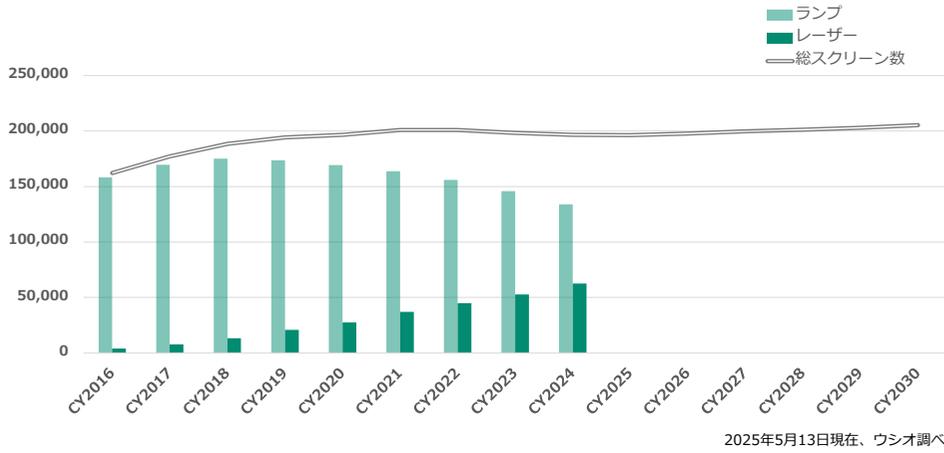
最後に、事業譲渡を決定し実施した案件をご紹介します。

これらは事業ポートフォリオ変革の一環として検討を続け、今期中に相手方との合意により譲渡を決定したものとなります。詳しくは、それぞれのリリースをご覧ください。

今後も企業価値向上に資する事業ポートフォリオ変革の取り組みを、積極的に進めてまいります。

以上で、私からの説明を終わります。

■光源別シネマスクリーン数及び総数の推移予想



2025年5月13日現在、ウシオ調べ

■ 一般映像の事例紹介

世界のさまざまなシーンで革新的な映像体験に貢献

シンガポール

有数のマルチメディア及びプロジェクションマッピングのスペシャリストであるHexogon Groupが、Christie®社のGriffyn® 4K50-RGB pure laser projectorの独占供給を発表



50,000ルーメンという驚異的な明るさを持つGriffyn 4K50-RGBを今後100台以上提供

[Hexogon Group buys record Griffyn 4K50-RGB projectors](#)

中国

50台以上のChristie社の1DL laser projectorを没入型演劇パフォーマンス「Ballad of Chu」に提供。伝統と最先端テクノロジーの融合で、忘れられない文化体験を



[Laser projectors elevate cultural experience in Hubei](#)

マカオ

豪華な5つ星ホテル&リゾート商業施設イルミネナリウムに50,000ルーメンのGriffyn 4K50-RGB pure laser projectorを29台提供。驚くほど没入感のある体験を



[Illuminarium enriches the visitor experience](#)

米国

アリゾナ州スコッツデールにあるOdySea Aquariumにレーザープロジェクター及びLEDビデオウォールを提供。足を踏み入れた瞬間に真っ青な海の真ん中にいるような気分を体感できる革新的な体験を



[OdySea Aquarium immerses guests in new lobby experience](#)

【参考情報（台数推移）】

一般映像向けプロジェクター



- I. 2025年度 3Q業績概要
- II. 2025年度 通期業績予想
- III. 新成長戦略の進捗及び参考情報
- IV. 参考資料

## 事業セグメントと主な製品

USHIO

事業セグメント	主要事業・製品	製品例
<b>Industrial Process</b>	<p><b>光源：</b> 露光用ランプ、OA用ランプ、光学機器用ランプ他</p> <p><b>装置：</b> 露光装置、キュア装置、保守メンテナンスサービス他</p>	 露光用ランプ  OA用ランプ  エキシマランプ  ステッパ露光装置  DI露光装置
<b>Visual Imaging</b>	<p><b>光源：</b> シネマ用ランプ、データプロジェクター用ランプ他</p> <p><b>装置：</b> デジタルシネマプロジェクター、一般映像向けプロジェクター、映像関連機器、保守メンテナンスサービス他</p>	 シネマ用ランプ  データプロジェクター用ランプ  デジタルシネマプロジェクター  一般映像用プロジェクター  ディスプレイLEDウォール  映像周辺機器
<b>Life Science</b>	<p><b>光源：</b>「Care222<sup>®</sup>」搭載モジュール他</p> <p><b>装置：</b>紫外線治療機器他</p>	 抗ウイルス・除菌技術「Care222 <sup>®</sup> 」搭載モジュール  紫外線治療機器「セラビームシリーズ」
<b>Photonics Solution</b>	<p><b>光源：</b>固体光源</p>	 固体光源 (LD/LED)  レーザーモジュール

Copyright © 2026 Ushio Inc., All Rights Reserved 26

## 四半期推移《損益》

単位：億円	2024年度				2025年度			前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	増減額	増減率
売上高	375	481	424	495	383	430	455	+30	+7.2%
営業利益	3	39	31	14	9	30	37	+5	+19.0%
営業利益率	0.9%	8.2%	7.4%	2.9%	2.5%	7.1%	8.2%	+0.8P	-
経常利益	14	39	50	19	16	34	38	▲11	▲23.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益/損失	2	20	34	10	▲28	30	37	+3	+10.2%
EPS(円)	2.92	20.26	36.07	11.56	▲32.06	35.72	46.08	+10.01	+27.8%
為替レート (円)	USD	155	153	149	154	145	147	+4	-
	EUR	167	166	162	160	163	171	+16	-

四半期推移《セグメント別損益》

USHIO

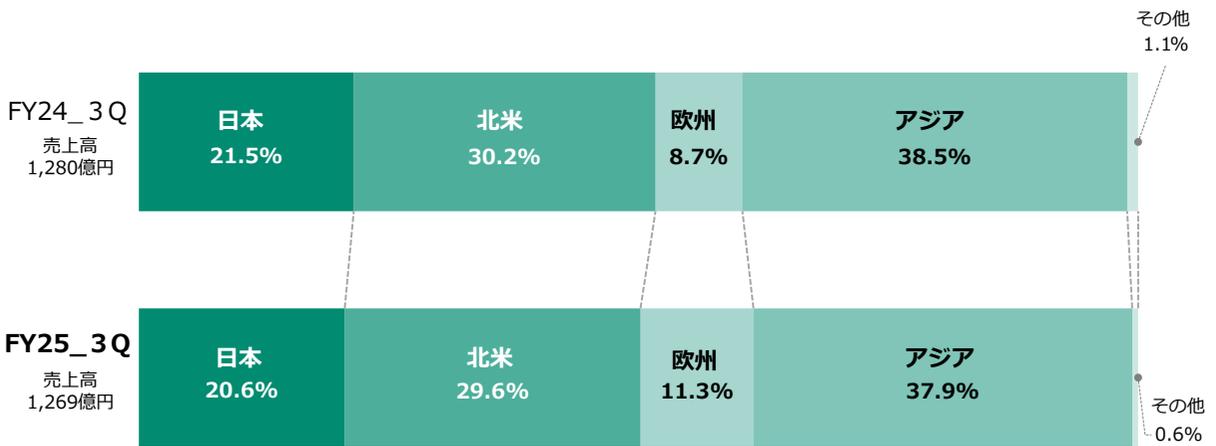
	単位：億円	2024年度				2025年度			前年同期比	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	増減額	増減率
Industrial Process	売上高	155	220	170	243	158	186	185	+14	+8.7%
	営業利益	10	41	18	25	3	17	17	▲0	▲5.1%
	営業利益率	6.7%	19.1%	10.9%	10.4%	2.1%	9.2%	9.5%	▲1.4P	-
Visual Imaging	売上高	175	216	211	205	183	197	225	+13	+6.6%
	営業利益	▲4	3	15	▲7	3	14	17	+1	+11.9%
	営業利益率	▲2.7%	1.6%	7.5%	▲3.5%	1.9%	7.4%	7.8%	+0.4P	-
Life Science	売上高	15	15	14	16	15	16	14	+0	+0.8%
	営業利益	▲1	▲3	▲2	▲2	1	0	0	+2	-
	営業利益率	▲11.1%	▲25.4%	▲16.7%	▲17.6%	7.2%	3.3%	2.8%	+19.5P	-
Photonics Solution	売上高	25	25	24	26	23	26	27	+2	+8.1%
	営業利益	▲0	▲2	▲0	▲0	2	▲1	1	+2	-
	営業利益率	▲2.3%	▲8.6%	▲2.0%	▲3.1%	9.8%	▲5.3%	5.9%	+7.9P	-
その他	売上高	2	3	3	3	3	3	3	▲0	▲5.7%
	営業利益	0	0	▲0	0	▲0	▲0	0	+0	-
	営業利益率	1.1%	8.8%	▲0.6%	13.2%	▲7.3%	▲6.4%	5.8%	+6.3P	-
連結合計	売上高	375	481	424	495	383	430	455	+30	+7.2%
	営業利益	3	39	31	14	9	30	37	+5	+19.0%
	営業利益率	0.9%	8.2%	7.4%	2.9%	2.5%	7.1%	8.2%	+0.8P	-

Copyright © 2026 Ushio Inc., All Rights Reserved

28

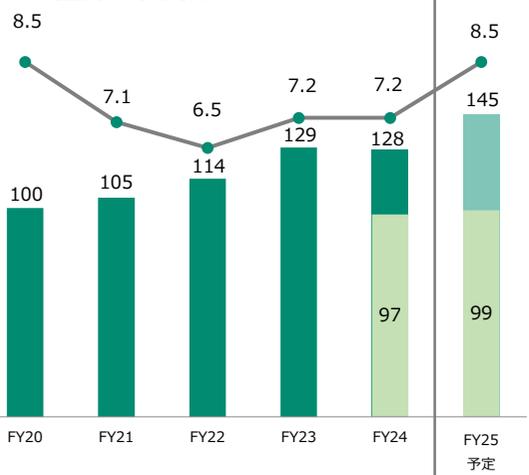
地域別売上高比率

USHIO

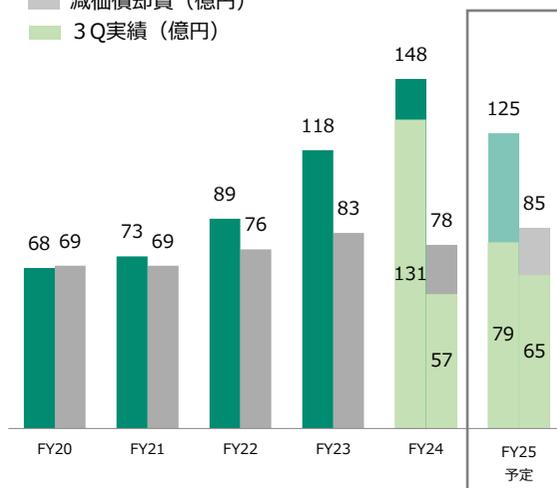


研究開発費／設備投資額・減価償却費

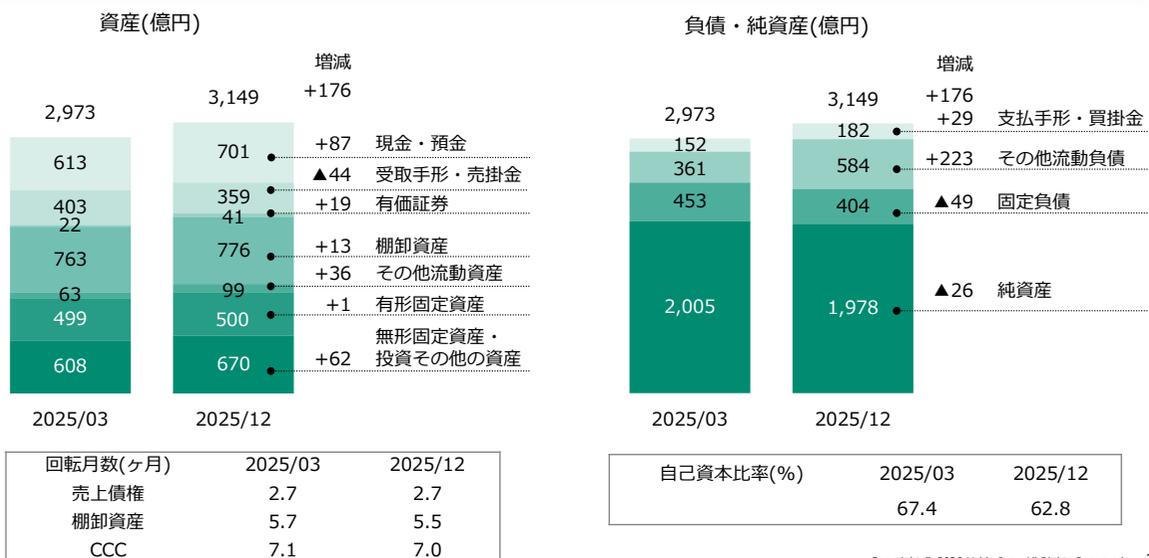
■ 研究開発費（億円）      ■ 3Q実績（億円）  
 — 売上高研究開発費率（%）



■ 設備投資額（億円）      ■ 3Q実績（億円）  
 ■ 減価償却費（億円）

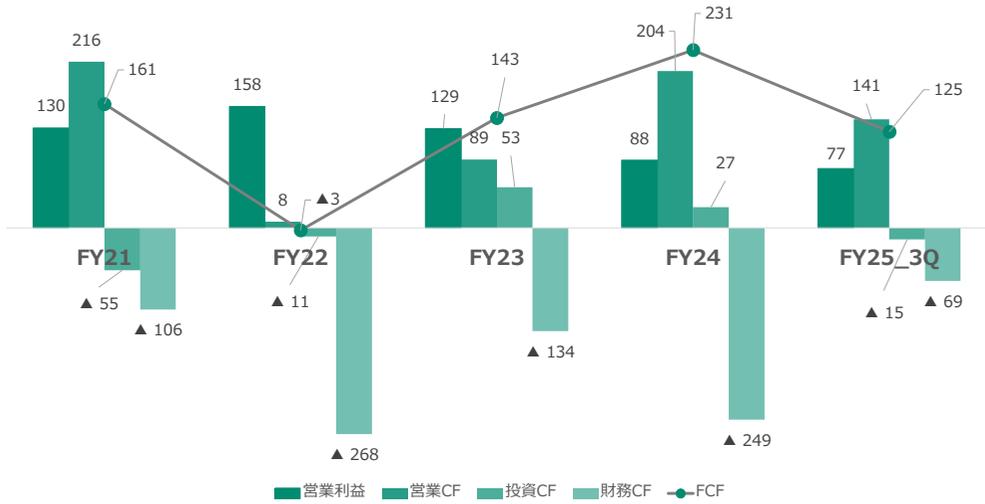


貸借対照表



# キャッシュフロー推移

単位：億円



## ■事業セグメント関連

IP事業	IP business	Industrial Process事業
VI事業	VI business	Visual Imaging事業
LS事業	LS business	Life Science事業
PHS事業	PHS business	Photonics Solution事業

## ■その他

AI	Artificial Intelligence	人工知能
DCP	Digital Cinema Projector	デジタル・シネマ・プロジェクター
DI	Direct Imaging	マスクを使わず、直接描画する露光方式
DLT	Digital Lithography Technology	デジタルリソグラフィ技術
EUV	Extreme Ultraviolet Radiation	極端紫外放射（極紫外放射）
OA	Office Automation	オフィス内の事務作業の自動化や効率化を図ること
半導体アドバンストパッケージ (半導体ADP)	Advanced Packaging (ADP)	チップレットをはじめとする半導体の2xD、3D化に対応する最先端の パッケージ分野

## IRサイト及びIRメール配信サービスのお知らせ

- 当社オフィシャルWebサイト「投資家情報」では、様々なIR情報を掲載しております。
- 法定開示や適時開示、その他IR情報等、ウシオのIRニュースを開示後適時にメールでお届けできるように**IRメール配信サービス**を導入しております。IRサイトからご登録いただきますようお願いいたします。

🖥️ オフィシャルWebサイトもご活用ください



投資家情報





統合報告書(Ushio Report 2025)





「大和インターネットIR表彰 2025」 「2025年度 全上場企業ホームページ充実度  
ランキング」 「優秀賞」 受賞  
「総合部門 最優秀サイト」 選定

IRメール配信サービス  
ご登録はこちら



### <免責事項>

本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

**ウシオ電機株式会社**

**IR室**

(03) 5657-1007

[ir@ushio.co.jp](mailto:ir@ushio.co.jp)

<https://www.ushio.co.jp/jp/ir>

Copyright © 2026 Ushio Inc., All Rights Reserved